新潟・下町（したまち）・坊城（ぼうじょう）遺跡

1　所在地　新潟県北蒲原郡中条町大字江上
2　調査期間　一九九六年（平8）六月～一二月
3　発掘機関　中条町教育委員会
4　調査担当者　水澤幸一
5　遺跡の種類　集落跡・自然流路
6　遺跡の年代　九～一七世紀
7　遺跡及び木簡出土遺構の概要

遺跡は、史跡奥山荘城館遺跡の江上館跡の西側に展開する集落跡である。館跡と同時期の中世後期の遺構が多いが、九世紀の遺物もかなり出土している。また、館跡よりも古い中世前半期の遺構もみつかっている。木簡は、自然流路から、一一六五年の年輪年代をもつ折敷と同一層から出土している。札類の出土も多いが、墨痕が認められたのは一点のみである。

（中　条）

8　木簡の釈文・内容

(1)　「□□」〔所カ〕　(188)×20×2　019

木簡は一点のみの出土で、上半が欠損している。下端を両脇から削り、やや細くしている。

9　関係文献

中条町教育委員会『下町・坊城遺跡Ⅱ　～川跡出土の遺物～』（一九九七年）

（水澤幸一）